

For environment friendly asphalt waterproofing systems

続・進化するアスファルト防水 (環境対応編)



なぜ? 今?

アスファルト防水?

屋上等に施工された防水層はその本来の使用目的である、

1. 財産を守ること (漏水した建物はその資産価値が著しく下がります)
2. 快適な居住環境を守ること(雨漏りする建物には住みたくありません)

を竣工当初から解体まで長期間維持していかななくてはなりません。

しかし、今、これ以外に防水を取り巻く状況が様々な社会的要因で多様化しています。

当工業会(ARK)はこれらの新しい問題に真正面から向き合い、あるときは前向きな提案を
またあるときは実利的で効果的な提案をさせていただいています。

今回はその取り組みの一部をご紹介します。

ARKアスファルトルーフィング工業会

建築防水においてもパラダイムシフト(社会機構の大変革)に対応して、新しい防水設計が導入され、その中で最も注目されるのが「高耐久性防水」です。

アスファルト防水工法における「高耐久性防水」への取り組み

押え断熱工法

この工法は既に数多くの実績があり、高耐久性防水に必要な要素を全て満たしています。

・最上層に押えコンクリート(保護層)を設けたことで防水層の劣化要因(紫外線等)をブロックする。

・断熱材(ポリスチレンフォーム)を防水層の上部に配置することで防水層を過酷な温度変化から守る。

以上のような特色から防水層の耐久性を長期間保持することが可能になります。

高性能・高付加価値防水材料の開発

(改質アスファルトルーフィング)

アスファルト防水工法を構成するものはアスファルトルーフィングと防水工事用アスファルトです。アスファルトルーフィングは改質アスファルトルーフィングが開発され高性能・高付加価値化が図られ、近年急速に普及し国土交通省の建築工事標準仕様書や日本建築学会(JASS)防水工事にも広く採用されています。

何といてもアスファルト防水は単層ではなく積層工法が可能です。そのメリットを最大限に活用することで「高耐久性防水」を実現します。

高耐久性防水について

住宅の高化が、ビル・ビルの屋防水を改修する、のよ

で、を有効用する、ビル・の高ビルでの発生している高ビルでの発生している高ビルでの発生している高ビルでの発生している高

の対策として、10年100年の、防水のメン

ス、をできる、け減す、が期さていす

アスファルト防水での工法に、けて「高耐久性防水」の

開発を、できに、けさ、高耐久性防水を

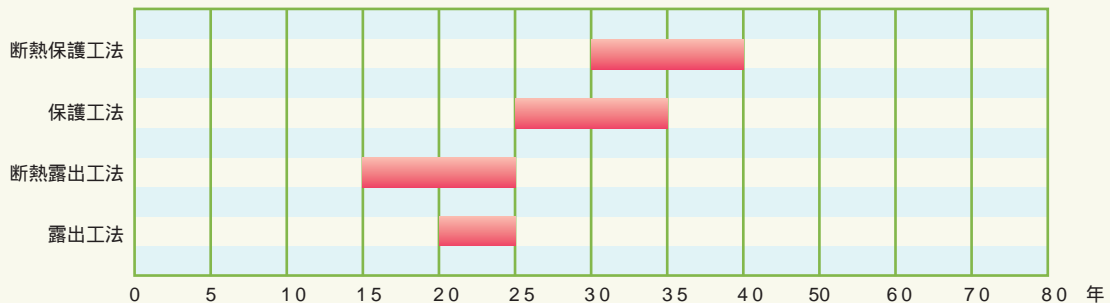
できるの、アスファルト防水、断熱工法、けで

す、スルな、の、の、度をお

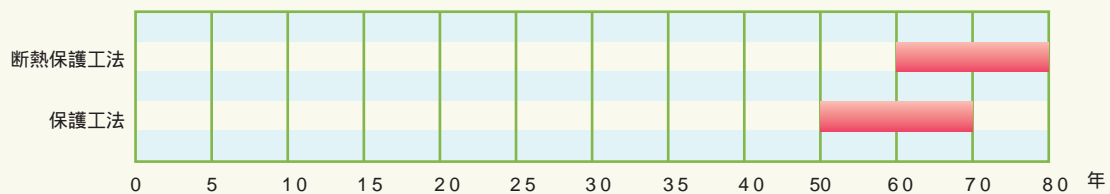
いい、す

アスファルト防水の耐用年数の予測

一般工法の場合



高耐久性工法の場合



TOPICS

屋上緑化

H25年度、医療福祉関連施設が過去最高に!

国土交通省が昨年9月に公表したH25年度の全国屋上・壁面緑化施工実態調査結果では、屋上・壁面緑化の施工面積は23万7668㎡(約23.8ha)で前年比ほぼ横ばい状態。

H12年からの累計では383万2634㎡に達した。

1物件当たりの施工面積は199㎡でH24年より約20%増加。

住宅・共同住宅の占める割合は全体の14%で例年より低い水準に留まったが、医療福祉施設関連は過去最高になり、全体の17.5%を占め181件、43万1699㎡と予測される。

(日本住宅新聞 H27年01月15日号より抜粋)

太陽光発電

住宅の10戸に1戸は「創エネ住宅」に!

富士経済が実施した「創エネ住宅の市場調査」によると、2013年度の創エネ住宅(太陽光発電システムが主体)は対前年比で20.8%増、51万2千戸に達した。これは消費税のアップに伴う駆け込み需要と買取り価格引き下げ予想とが重なった結果である。

2014年度は対前年比で17.4%増の60万1千戸程度と予測される。

「創エネ住宅」は2014年度には累計で670万2千戸、普及率は13%に達し、住宅の10戸に1戸は太陽光発電システムが屋根などに乗っていることになる。

(日本住宅新聞 H27年01月5日号より抜粋)

Members アスファルトルーフィング工業会会員

アスファルトルーフィング工業会 URL:<http://www.ark-j.org>

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9-2 日新中央ビル3階 TEL.03-6661-9288 FAX.03-6661-9034

正会員

ガムスター株式会社	〒596-0806 大阪府岸和田市まゆ町126	TEL.072-444-9021 FAX.072-443-3349
静岡瀝青工業株式会社	〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町4-8	TEL.054-273-2781 FAX.054-273-3140
昭石化工株式会社	〒135-8074 東京都港区台場2-3-2	TEL.03-5531-7063 FAX.03-5531-6811
常裕パルプ工業株式会社	〒799-0431 愛媛県四国中央市寒川町830	TEL.0896-23-3400 FAX.0896-23-3288
田島ルーフィング株式会社	〒101-8579 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX21階	TEL.03-6837-8888 FAX.03-6837-8889
田島応用化工株式会社	〒101-8579 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX21階	TEL.03-6837-8900 FAX.03-6837-8905
東和工業株式会社	〒174-0043 東京都板橋区坂下3-29-11	TEL.03-3968-2301 FAX.03-3966-1801
七王工業株式会社	〒765-0031 香川県善通寺市金蔵寺町180	TEL.0877-62-0951 FAX.0877-62-4927
日新工業株式会社	〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4	TEL.03-3882-2424 FAX.03-3881-8545
三島工業株式会社	〒799-0404 愛媛県四国中央市三島宮川1-8-25	TEL.0896-24-4420 FAX.0896-24-2615

賛助会員

株式会社ウメモトマテリアル	コスモ石油販売株式会社	株式会社ジェイエック
エムシー・エネルギー株式会社	株式会社シェル石油 大阪発売所	ダウ化工株式会社
カネカケンテック株式会社	株式会社JSP	リーフエナジー株式会社